

青少年善行表彰受賞者の善行内容（過去の表彰例）

- (1) 人命救助、防火、防犯、事故防止等のための活動及び自然災害の発生時に救援活動に尽くした行為

受賞者	個人（中学生）
表彰対象行為	児童の救護活動
表彰内容	<p>小学校2年生の男児が体調を崩しているのを発見し、救助した。</p> <p>具体的には、近くで遊んでいた男児が嘔吐していたことから、熱中症ではないかと考え、日陰に連れていき、自分の小遣いで水を購入して飲ませた。男児の体調が良くなるまで、10分程度そばに付き添い、看護を行った。</p> <p>その後、体調が回復した児童は、元気に遊びに戻っていった。</p> <p>なお、後日、児童の保護者が、お水代、お礼の手紙を持って学校を訪れた。</p>

受賞者	団体（学校）
表彰対象行為	地域の人々の防災意識の向上に貢献
表彰内容	<p>自治会倉庫での出火を発見し、自主的に消火活動に参加した。</p> <p>具体的には、部活動中に、自治会倉庫横の資材置き場において、出火しているところを発見し、現場に駆け付け、自主的にバケツリレーを開始した。その後、地域住民も参加し、30分程消火活動を実施した。</p> <p>なお、最終的には、消防が到着し鎮火したが、初期消火が早かったため、大きな火事にはならず済んだ。</p>

- (2) 公共の施設又は場所の環境美化に尽くした行為

受賞者	個人（中学生）
表彰対象行為	環境美化活動
表彰内容	<p>短くなったチョークを再利用し、環境美化に尽くすという善行をしている。</p> <p>具体的には、学級担任の先生と短いチョークがもったいないという話になったこと、社会科の授業でSDGsに触れたことをきっかけに、使えなくなった短いチョークの再利用に取り組み始めた。再利用の方法について、自主的に学級担任の先生に相談し、インターネットで調べ、放課後の空き時間に活動を行っている。</p> <p>また、再生したチョークは、担任の先生だけではなく、他の学級においても使用されており、普通のチョークよりも太くて使いやすく、強度も遜色ないと先生方から好評を得ている。</p>

受賞者	団体（学校）
表彰対象行為	環境美化活動
表彰内容	<p>ごみ拾い活動をし、環境美化に尽くすという善行をしている。</p> <p>具体的には、週に1～3日間、放課後に1時間程度、ごみ拾い活動を行っており、学校のみならず、市役所ごみゼロ課やクリーンセンターに相談し、自分たちでできる方法を模索しながら、活動を行っている。</p> <p>また、ごみ拾いの最中に拾った空き缶について、製造元である企業に製造年月日の確認をし、空き缶が捨てられた時期を特定するといった調査をしている。</p> <p>なお、地域の住民から「ありがとう」「ご苦労様」などのお声もいただくなど、地域住民とのつながりも深まっている。</p>

(3) 主導的に年少者の育成活動に尽くした行為

受賞者	団体（青少年ボランティア団体）
表彰対象行為	年少者の育成活動
表彰内容	<p>青少年の意見を施設の事業運営に反映させるため、16歳から23歳までの青少年ボランティアで構成された団体として、活発に活動を続けている。</p> <p>特に、年1回のまつりでは、青少年ならではの柔軟かつ自由な発想により「ピンボール」や「千本引き（ひもくじ）」といった新規の企画をするなどして積極的に事業に取り組んでおり、レクリエーションを通じてこどもたちの豊かな心の育成に尽力している。</p> <p>その他にも、周辺地域の清掃を行うプログラムや、年少者が普段触れる機会の少ない経済分野に対する理解を深めるための経済アカデミーの開催などの各種イベントスタッフなど、その活動は年間34回に上り、施設の利用者増にも貢献している。</p> <p>青少年自身が、年少者に近い目線で事業に取り組むことにより、自発的な青少年健全育成が促進されており、また、その企画が事業の参加者からも「良い企画でよかった」、「来年も続けてほしい」などの声が聴かれるなど好評を博している。</p>

受賞者	団体（子ども会）
表彰対象行為	仲間づくりの活動
表彰内容	<p>高学年の子どもがリーダーとなり、1年生を迎える会、ラジオ体操、クリスマス会、6年生を送る会等子ども会行事実施の際、月1回高学年会議を行い、自主的に運営に携わるとともに自治会主催の夏祭り、もちつき大会にも積極的に参加している。また、市子ども育成連絡協議会主催の「つなひき大会」に参加するなど、他の子ども会との交流も活発に行っており、仲間づくりの活動を展開している。毎月第1日曜日に資源回収を行っており、ごみゼロ運動にも継続して参加している。</p> <p>昭和63年に結成以来、20年余、地域に密着した子ども会として活動している。</p>

(4) 社会福祉施設等への慰問激励、募金活動等の奉仕活動に尽くした行為

受賞者	個人（小学生）
表彰対象行為	慰問激励・奉仕活動
表彰内容	<p>伸ばした髪を寄付することで、誰かの気持ちが救われ、笑顔につながってほしいと思い、ヘアドネーションを実施した。</p> <p>具体的には、祖父が白血病で亡くなったことをきっかけにヘアドネーションに取り組む母、祖母の姿を見て、自分自身も興味を持ち、取り組みを始めた。生まれてから7年間、髪を伸ばし続け、令和4年8月、祖母45cm、母40cm、当該児童35cmと親子三代でヘアドネーションを実施し、それを自由研究にまとめ、取り組みを学校内に周知した。</p> <p>また、身近な友人にヘアドネーションについて話したことから、自分も取り組んでみようとする人が増え、ヘアドネーションの輪が広がってきている。</p> <p>なお、現在は、2回目の寄付に向けて、髪を伸ばしている。</p>

受賞者	団体（学校）
表彰対象行為	奉仕活動
表彰内容	<p>ボランティア同好会として活動を始め、平成13年に部となり、活動の幅を広げながら、年間28のボランティア活動を35名の部員で展開している。</p> <p>具体的な活動としては、火や土、水などの自然なものを使い、子どもたちを危険のないように見守りながら、遊びをサポートするという活動を通じて、子育て支援に貢献している。</p> <p>また、学校の文化祭において、アイメイト（盲導犬）の紹介を通じて、アイメイトグッズの販売サポートやチャリティーバザーを開催し、その売上金を協会に寄付するなどの支援活動に尽力している。</p> <p>このほか、エコキャップ収集活動では、各教室に設けたキャップ回収箱に集められたキャップを回収し、洗ってシール等を剥がすという根気のいる作業を継続し、発展途上国の子どもたちにワクチンを送る活動に尽力している。その結果、キャップを256,000個回収し、ポリオワクチン32人分を届けている。</p>

(5) 地域住民との交流を積極的に行うことにより地域の活性化に尽くした行為

受賞者	団体（一般）
表彰対象行為	地域交流活動
表彰内容	<p>令和3年12月から約4ヶ月にわたり、コロナ禍での防犯活動として、自治会の敷地及び周辺の夜間のライトアップを実施した。</p> <p>具体的には、中学生から大学生の13名で企画や電飾の準備、設置を行いました。期間中は、コロナ禍であったためチーム内の連絡はwebで行い、定期的に電線を整え、悪天候前には保護を施すなど、管理をしつつ、毎晩の点灯を行った。</p> <p>また、ライトアップに加え、防犯活動として地域パトロールも実施した。</p> <p>なお、地域住民からは、「今後も続けてほしい」といった声が上がっており、近隣地域でも同様の取組が広がっている。</p>

(6) 前各号に掲げるもののほか、市長が適当と認めたもの

受賞者	団体（学校）
表彰対象行為	靴を送る活動
表彰内容	<p>卒業生の履かなくなった運動靴を集めて、アフリカに送る活動を進めることにより、貧困に苦しむ人々への支援に努めている。</p> <p>生徒たちは靴を集めるだけでなく、アフリカの子ども達の感染症予防という明確な目的と「命の大切さ」や「物を大切に使う」という思いをもち運動を行っている。集めた靴は、次に使う人のことを思いやり、洗濯、乾燥してサイズごとに梱包し、「これを履いて元気に走り回ってね」などのメッセージが添えられたものもあり、靴を通じて国を超えたつながりが生まれている。</p> <p>その思いに賛同した児童センターも協力して、集まった靴は年間で約800足に上る。さらに今年度からは他の施設でも呼びかけをすることとなり活動の輪が広がっている。</p> <p>これらの活動は大使館から感謝状が届けられ現地の人々からも感謝と賞賛の声が寄せられている。</p>